

2013年7月26日

株式会社損害保険ジャパン
日本興亜損害保険株式会社

2013年度 東日本大震災復興支援「社員派遣プログラム」の実施 ～ 復興に取り組む団体のサポート役として社員を派遣 ～

株式会社損害保険ジャパン(社長 櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」と)と日本興亜損害保険株式会社(社長 二宮雅也、以下「日本興亜損保」)は、7月29日から被災地の復興に取り組む団体のサポート役として社員を派遣する「社員派遣プログラム」を実施します。

1. 「社員派遣プログラム」の概要

被災地復興に必要とされる支援が短期的なボランティアから中長期的な支援へと変化するとともに、マネジメントスキルをもった企業人材のニーズが高まっています。損保ジャパンでは、昨年度から、「みちのく復興事業パートナーズ」に参画し、「社員派遣プログラム」を実施しています。

本年度は、損保ジャパン、日本興亜損保の両社の社員を派遣します。また、オンラインコミュニティの開設により活動状況を共有することで、派遣した社員と現地に赴かない両社社員および「みちのく復興事業パートナーズ」参画企業の社員などが参加できるプログラムとしています。

「みちのく復興事業パートナーズ」とは

NPO法人ETIC.^(※)が東日本大震災の復興支援に向け、企業同士が協力し被災地の復興に取り組む次世代リーダーを支えるために設立したプラットフォームです。

参画企業(2013年7月現在):

味の素株式会社、花王株式会社、株式会社損害保険ジャパン、株式会社電通、
株式会社東芝、株式会社ベネッセホールディングス (50音順)

※NPO法人ETIC. (1993年活動開始)は、次世代を担う起業家型リーダーの育成・輩出を目的とし、起業家を志す若者に対し、さまざまな実践と成長の機会を提供しています。

2. 活動期間

2013年7月29日(月)から10月18日(金)まで

* 上記期間中に10日間のプログラムを4クール実施します。

3. 派遣社員

社内公募で派遣する社員を決定しました。期間中合計9名の社員を派遣予定です。

4. 派遣先・活動内容

一般社団法人福島復興ソーラー・アグリ体験交流会^(※) 南相馬ソーラー・アグリパークにおける以下のサポート業務

(例) 太陽光発電以外(風力、地熱、波力など)の体験施設・プログラムの開発、
リーダーのマネジメント業務のサポート、新入社員教育、PC スキルの提供、コンテンツ制作、
広報活動、イベントの企画・運営 など

※一般社団法人福島復興ソーラー・アグリ体験交流会(代表理事 半谷栄寿)は、津波の被災地(市有地)を活用し、太陽光発電所や植物工場での体験学習を通じて、地元の子供たちの成長を支援し、全国の人々との交流を図っている団体です。

URL: <http://minamisoma-solaragripark.com/>

以上